

毎年百合の花が咲くと香りと共に庭が華やかになります。「歩く姿は百合の花」と言われるのは、百合の花が風に揺れる様子が、女性の優雅な歩き方に似ているからと言われますね。百合の茎は細くしなやかで、花は少しうつむき加減に咲き、風にそよぐ姿がとても柔らかく、品のある印象を与えます。白・黄・赤・皆さんはどんな色が好きですか

紅葉台



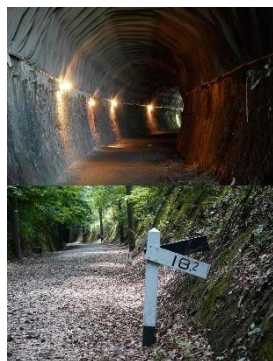
新聞

第194号

2025年
8月9日

発行人：関谷 孝

粕谷和夫の観察日記



安曇野の北東部にある旧国鉄篠ノ井線跡は線路が撤去され、舗装されていない道がそのまま残っているので、静かで排気ガスのない完璧なウォーキングコースになっているとの情報を得たので6月30日に歩いてみました。松本駅から篠ノ井線に乗り換えて2つ目の駅（明科駅）

から1.4km歩くと三五山トンネルに着きました（写真上）。トンネルを抜けると鉄道標識が残っていて、昔の鉄道の面影が実感できました。廃線敷は緑で覆われた木陰が続き汗をかかず、ゆったり散策ができました。

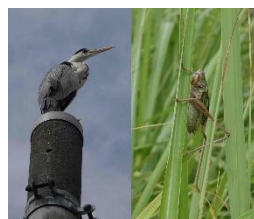


安曇野の北東部にある旧国鉄篠ノ井線跡の散策の続きです。この写真の上は篠ノ井線の「踏切跡」です。線路跡にはホオジロがいました（写真下）。高原的な雰囲気もあり、ホオジロにはピタシの環境です。林の中からはアカゲラの声が聞こえてきました。



安曇野の北東部にある旧国鉄篠ノ井線跡の散策の続き、「その3」です。この散策コースで最も気に入った場所が「ケヤキの森自然林」でした。一見ブナの原生林のように見えたのですがケヤキでした。一帯は、長野県内有数の地すべり多発地帯だったため、鉄道防備林として3万本のケヤキが植栽され、それが成長して見事な林になったとのこと。林の中からはキビタキのさえずりが聞こえてきました。

7月5日、八王子・湯殿川での野鳥定期カウント時の一コマです。アオサギが電柱のてっぺんに止まって高い所からあたりを見渡していました。湯殿川の河原からはキリギリスの声が聞こえてきました。キリギリスは鳴く



紅葉台新聞は、「高尾フモト同盟」のHPに公開されています。高尾の情報や働く人たちが紹介されています。興味を持った方は、覗いてみてください。また、皆様からの情報や投稿もお待ちしています。

虫の代表的な昆虫で声はよく聞こえますが姿は見つけづらいです。しかし、今日は道の直ぐ近くのツルヨシの葉にじっと止まっていたので、写真が撮れました。

7月5日、八王子・湯殿川での野鳥定期カウント時の一コマ、その2です。河原や堤防に自生しているヤブカンゾウが咲き出しました。学名は Hemerocallis fulva (ヘメロカリス)



は、ギリシャ語の「hemera(一日) + callos(美)」が語源。美しい花が一日でしぼむところからと説明があります。そうです、この花は1日で萎んでしましますが、蕾がたくさんあって、日を替えて次から次へと咲いてきます。開花直前の蕾を乾燥したものが「金針菜(きんしんさい)」で、消炎、止血薬として血尿、痔などに用いられるという薬草ですが、この蕾を生そのまま食べても美味しいです。

登らなくても楽しめる！高尾山口の新スポット 「TAKAO 36 BEER」オープン



2025年6月、高尾山口駅すぐの麓に、クラフトビールの新名所「TAKAO 36 BEER (タカオ サンロクビール)」がオープンしました！

ここはなんと、登山しなくても立ち寄れる駅近ビアスポット。併設の醸造所で作られた出来たての生クラフトビールが常時8種類ほど楽しめます。パールエール、IPA、サワーなど、種類も豊富。テイクアウト用の缶ビールも販売されています。さらに、自然に囲まれたゆったりした空間で、散策やサウナ帰りの一杯にもぴったり。高尾山口駅から徒歩2分とアクセスも抜群！

TAKAO 36 SAUNA は、世界的サウナブランド Harvia のストーブにこだわった4つのサウナルームと、柔らかに透き通る山麓地下水を利用した3つの水風呂、リラックスに心地よい川の音や美しい鳥の囀りに包まれる2つの内外気浴テラスが自慢です。初めてのサウナ体験でも分かりやすく、ひとりひとりの時間がゆっくりと流れるよう整えてご案内します。高尾山に昇った後は、ビールとサウナ新しい名所になりそうですね！！（同じ建物にあります）

